

SNSを活用した火災予防活動（岡山県倉敷市）

取組概要

- ・パソコンでもスマホでも遊べる「オリジナル脱出ゲーム」、幼児向け「防火絵本」、地元警察と連携し「防火防犯ラップ」動画を制作し、デジタルサイネージ、YouTube配信を行った。
- ・公式SNSを活用して、単に防火を呼びかけるだけではなく、「消防を身近に感じてもらえるよう」継続投稿した。

取組の効果

- ・SNSフォロワーは合計14,000超えを達成し、市民の方からも「SNS見えています。」といった声掛けをもらっている。
- ・令和5年度採用試験の受験者から「SNSで雰囲気の良いが伝わり、倉敷市消防局を受験しました。」といった声掛けをもらっている。
- ・令和4年度中の火災122件に対し令和5年度中は110件となり10%減少した。

創意・工夫した点

SNSの投稿については、様々な立場の人に届くよう、子供向けシリーズや、専門職に対する火災の危険性、リクルートとして消防局で働きたい人用の動画等、投稿種類の幅を広げている。また、消防をより身近に感じてもらうため、LINE用スタンプの消防局公式キャラクターを活用している。

他団体へのアドバイス

SNS運用を継続することは簡単ではないですが、SNSを通して消防を身近に感じてもらい、防火意識を高めるだけでなく、職員採用活動のツールにもなっています。市民の声を直接聞ける有効な媒体ですので是非チャレンジしてください。

人口 475,914 人(R6.1.1現在)

担当 消防局消防総務課

さみしがりやのぴっぴ



倉敷市消防局
作 守屋 綾香
絵 岡本 崇志

協賛 倉敷市防火協会 倉敷市幼少年女性防火委員会

防火絵本「さみしがりやのぴっぴ」



警察と連携「防火防犯ラップ」